

磐城中正新報

發行日 毎月一日、十五日
 定額 一月一元、半年六元、一年十二元
 郵税 金拾銭
 廣告料 普通部十二字一行情
 一回八十銭、場所指定
 同二十銭増
 印刷 安澤榮作
 編輯 安澤榮作
 發行所 福島縣磐城郡西番地
 磐城中正新報社

極北樺太大炭炭礦の御大典奉祝と記念事業の數々

御大典奉祝と記念事業の數々

十一月十日は日本全土は勿論、論洋の東西を問はず苟くも日本人の居住する所では必ず奉祝式を擧げざる所はない。樺太炭田の白眉たる大炭炭礦奉祝式の模様を左に報せんと此の佳き日は初雪五六寸、御大典を壽く表彰の如く天、地清淨心地よく全山休業し午後二時より同礦小學校に參集兩陛下の御眞影に各代表者最敬禮を爲し一般參列者此れに倣ひ正三時同會者奉唱に和して萬歳を三唱し静肅裡に退場し同三時半より同校に於て同炭礦全員の奉祝會を開催し酒肴を供し互に聖壽無窮を奉祝し大盛會を極めて散會したが極北の新天地前代末踏の此の谷間にも拓地殖民を兼ねて人口二千餘の陛下の赤子が住み今日の佳き日を奉祝する様になつたのは有難きことである、參列代表者の氏

貧乏徳利物語り

「おい熊さん一杯やろう」那が急勝なもんだから九時「有難ていな」實は今日まで夜業やらせられたんで

餘計に三四貫入つたんだ。見ろよ。大徳利だらう心配者に迷惑をかける言なくやれよ。時に兄哥聞いふ證據だナ言はば積立金何たか、それ銀行の休業騒ぎ十萬圓もか何十錢もかよ、此方などそんなこと聞の規則イヤ規則でない取極くもんか憚ながらこの兄哥めをして居るのだ併しこのなどはそんなこと生れねえ先取極などといふものは何にから讀めてらあ。少し聞けもならん。唯理屈に過ぎなよ人間ていものは働いて食うに極まつてるんだ。十八史略と言ふ本讀んだか日出て耕し日入りて憩ふなど井を鑿りて飲み羊を飼つて食ふふとある、オット間違たかなイヨウ酔つた。併し本の筋道は今言つた通りだ我々のやうに短い着物を着て朝は五時に起き骨身を惜まず働いて夜はぐうぐうと寝るだ。是が天理に協つた聖人と言ふものだ。然に銀行と言ふものは人様の金銭を預つて又それを人様に貸してやり其利息でお役人様を給料を仕拂へヨシカ。其に給料を株主に配當すると言ふ仕組になつて居るものだ。茲とよく考へるところは、熊さん理論はよく出来てゐるが、理論と事實といふものはいつも合致しない。借りた人が返済しなさいや、つても元方が足りないに極ま

御大禮關係の旅費

總額百五十萬圓

受取濟の大口は 渡邊第十九師團長

御大禮關係の旅費支給係を御大禮使主計部長たる黒田大藏次官以下河田主計局長佐野會計課長等で京都の大藏省出張所で大支給した額なほ文部省委任待遇として只一人參列の光榮に浴して東京府下南千住瑞光小學校長山口製装治氏は二百九十圓六十四錢を頂戴して感激しつゝ、歸京した、此の外貴衆兩院議員は勅任と委任の中間故當日十八圓づつであるが流石はブルの階級だ、合名理事長其の他淺野總一郎、馬越泰平等諸氏の各民間代表者は今の所同旅費の請求をしつゝ、各責任の重且つ大なるを思へ

御大典の記念に

合戸局長のものした 通信従事員十訓

通信従事員日常の一舉手一投五、百般の法規整備すと雖も之に通曉せざれば局務滯滞して累を公衆に及ぼす常に法規の研究を怠る勿れ

六、何人に對しても常に懇切丁寧にして公衆信頼の標的たれ横柄なれば些事も苦情の種たるべし

七、公衆の態度不遜なる事あるも忍んで怒る事勿れ通信の業務は公衆に安心と満足とを齎すものにて従事員は其の天使なればなり

八、通信の秘密を確保し斷じて漏洩の過失なきを期せよ是れ従事員の嚴守すべき重要な義務なり

九、誰か不平不満ならん之を癒するの道は修養と努力とに在り然る時は光明満足求めざるに自ら來る

十、惡事千里蔽はんと欲するも能はず一時の迷は終生の悔を残す常に廉恥を重じ貧汚の所爲あるべからず

昭和三年十一月 御即位禮の日 福島縣東部三等局長會長 合戸郵便局長 合津音次

其處だて巷間に噂するが如來たら取れいと言ふだらく行員つまり番頭共の中にふが千兩が千兩直ぐ受取れ悪人があつて人様の金銭をのい。解らねい野郎だ取れ我物頭にちやらかして藝者ぬ時は慈善家だよ取れた時遊びしたとか己が私財を増は當然だよ。だから平常俺進んで隠蔽して無財産を装つたらあ言つてるじやないか釋して居る奴があつたらそれ迎様が有難てい過去現在こそ天罰ものだ。どうせそ未來をお説きになつたのだんな奴は疊の上で死にやせなんでも人間は心を大きくない、だからチツトも大騒持つて天地の心を見るのだなどするこたない。チヨトア、酔つた言ひ過ぎたら熊待て兄哥其説に因ると潰れさん勘忍しねいヨ (貧乏徳利)

御大禮關係の旅費支給係を御大禮使主計部長たる黒田大藏次官以下河田主計局長佐野會計課長等で京都の大藏省出張所で大支給した額なほ文部省委任待遇として只一人參列の光榮に浴して東京府下南千住瑞光小學校長山口製装治氏は二百九十圓六十四錢を頂戴して感激しつゝ、歸京した、此の外貴衆兩院議員は勅任と委任の中間故當日十八圓づつであるが流石はブルの階級だ、合名理事長其の他淺野總一郎、馬越泰平等諸氏の各民間代表者は今の所同旅費の請求をしつゝ、各責任の重且つ大なるを思へ

平銀行對常磐銀行との合併交渉著しく進む

豫定の本月中には開業される見込み

突如去る十九日休業した平の誠意ある交渉が同行死活つて救済し得ざるを地方の銀行は其後常盤銀行の宮毛の運命を決する所である吾面目の爲めに悲しむもので支配人外数名来平し合併實現人は先に磐銀の休業令又平あり、然し過ぎたるは詮な現の前提として先づ平銀の銀の休業に依り磐城の財界し平銀の重役諸氏に望む時内容に付き十分なる調査を以て與へたる極度の恐怖と不恰も年末に押し詰る誠心誠意開始引續き調査中の所此の安を痛感し出来得べくんば意を披瀝し一日も早く合併程本店支店出張所等全部完他の後援に依らず磐城の誇實現に猛進し財界安定の爲了し只た残るは比率の問題として自他共に許せし比めに一大努力を熱望して止であるが此れとて大した難儀的内容の不良にあらざるまざるものである問題でなく、平銀重役諸氏銀行を地方財力家の手に依

通常縣會の幕開き

知事の豫算説明のみで八日間休會す

本縣通常縣會は去る廿四日警察署の移轉設備、自動車に關する施設、勸業費、肥土費、料指導獎勵に關する施設外如く諸般の報告後加勢知事道路工の増、縣廳舎増築、其の高利縣債借の豫算説明あつて同日の議案國道果下峠の改修、信夫替等が其の主なるものであり事は之れにて終り、議案審査橋架換、橋梁加換七橋漁港の爲の翌廿五日より本月二日修築工事補助の新設、都市其れと反對に生産額は減少日まで八日間休會に決し午計畫地方委員會の充實、教と云ふ奇現象を示す吾人の後一時散會したが明年度豫算費、相馬農蠶學校一學級代表たる賢明なる縣議諸公算總額八百六拾九萬餘圓に増加、磐城中學校の排水路よ黨利黨略に依らず克く議して本年度より二拾四萬圓の増、會津高等女學校案の内容を調査し眞に福利餘の増額である、新規事業の増、會津農林學校の給民福を望む縣民の代表としの主なるものは警察費警察水設備、蠶業學校の設備改修、衛生費、理髮業者試験候補當時の意氣を以て縣政官の増員、警察統計手當の善、衛生費、理髮業者試験候補當時の意氣を以て縣政新設、白河警察署の建築等に關する施設、花柳病豫防の料理に當られん事を望む

川瀨炭礦と福島炭礦との合併

交シヤウ順調に進む

石城郡赤井村川瀨炭礦は従來礦主川瀨幸治氏が獨力經營經營上非常なる打撃を蒙定刻前聽衆は續々押掛け場の挨拶あり、講師鷲澤與四

海老原洗濯店

各種提灯
特別大勉強
スガノヤ提灯店
電話 七一二番

綿製造卸小賣

野上龜太郎
電話 一五二番

御大禮に際し

地方賜饌の光榮に浴せし
田村平郵便局長

も田畑を耕す等の勞働はは男子一人の収入にして妻と折紙を付れば鑑區坪數ニウムを以つて製造して出來得ない、而して世主等女は家に在て何等か内職取及總採掘噸數等調査の上一ひる所は僅かに二三ヶ所に夫婦二人の稼である、田一入を得て居る是を計算すれば大アルミニウム製造工場過す從つて同村特産の粘土町歩の收穫は玄米にして二ば如何に少收の者にも七を建設せんと意氣込である含有のアルミニウムが果

大發展大勉強の磐城炭礦指定商

り整理、改善も遂に氏が目礦の内容調査も完了し近く二氏は万雷の如き拍手に迎たが目下對支外交の喧しき組合が設立されたが一方的に副はす依つて氏は敢然正式に合併を實現するもの起つて賣山を企圖し賣却代と觀られてゐる由來同礦の金の全部を擧げて債務に充炭質は概して良好とは云へ當し債權者に對しては一厘難きも部分的には田町炭の迷惑を掛けずと悲壯なる比適當る良質のものも少く覺悟を以つて賣山問題に直に又理藏量の豊富なるは面猛進せんとせしに氏が此專門技手の調査に依つて明の悲壯なる覺悟を隣礦の礦である本合併實現の曉は川主で本邦礦業界に其の人あ瀨氏は福島炭礦株式會社のりど知られたる山下龜三郎重役として就任し同社事業氏の知る所となり川瀨氏の部に活躍し氏獨特の手腕を行為が現代稀に見る男性的振へ常磐礦業界に一異彩を行為に感じ茲に兩礦の合併放つであらうと斯界より期問題が突如として起り兩者待されてゐる交渉の結果意外に進捗し兩

和歌

小川郷 吉岡 獨歩

全じく
雄々敷も正義の筆を剣とこ、たぐの筆の林を抜け出邪曲挫け大丈夫の友全じく
王侯の富も權威も數ならず曲げん術なき君が筆はも全じく
◇中正新報よ幸あれ
二葉よりいと直くよかに君松の繁るは千代の兆なるらん

時事新報社

鷲澤氏の支那時局講演會大好評裡に閉會

時事新報社主催石城教育内は立錐の餘地なき盛況でし一般より頗る囑目されつ會及平町青年團後援の最近同社編福島支局長の開會の波で警銀及平銀等の休業が二十日午後六時の定刻より幹事平第二小學校校長佐藤一地方財界に極度に影響し事運ること三十分にして開會氏と同社販賣部助役熊谷氏支那市場で日本の紡績業と競争する爲めに東洋織物業加ふ

二氏は万雷の如き拍手に迎たが目下對支外交の喧しき組合が設立されたが一方的に發見された人造綿花が試験の結果良好な成績を擧げは斯てランカシアの紡績業は日本と對抗すべく一大武器を更に加へる事になつた此の人造綿花はイングラドではランカシアアヨークシアの紡績工場の需要を充すに足る産額がある許りでなく追々は廣く世界の各方面へも輸出するは勿論であら値段も又極めて低廉で人造綿花より得たる綿糸は普通の木綿と同様に人造絹糸や人造毛糸等と交織する事が出来染料は従來使つてゐる量の三分一以下で十分に吸收される此の人造綿花の研究者はウオタースト云ふ英國の化學者で南米の英領ギアナで鳥が綿花様のものので巢を造るのを見て其の植物の種子と根とを本國に持ち歸りイングラドで栽培して成功したのである

自治資料展覽會

本縣町村長石城支會主催の自治資料展覽會が廿三日より三日開會が終達した證左で誠に喜ぶ郡衙に於いて開會參考品とべき現像である

人造綿花の出現

英國紡績工場の需要を充し
値段又極めて低廉
需要家の一大福音

精神修養の歌

花の咲く本はかねの木じや多くの人は云ふけれど。かぬの光はうはべのみ。いくらうはべは花じやとて。心ににに花を飾るより。心に錦着るがよい

波で磐銀及平銀等の休業が二十日午後六時の定刻より幹事平第二小學校校長佐藤一
地方財界に極度に影響し事運ること三十分にして開會氏と同社販賣部助役熊谷氏
波で磐銀及平銀等の休業が二十日午後六時の定刻より幹事平第二小學校校長佐藤一
地方財界に極度に影響し事運ること三十分にして開會氏と同社販賣部助役熊谷氏

海老原洗濯店

各種提灯
特別大勉強
スガノヤ提灯店
電話 七一一二番

綿製造卸小賣

野上龜太郎
電話 一五二二番

御大禮に際し

地方賜饌の光榮に浴せし

田村平郵便局長

築館、秋山の兩主事が
賜饌を全局員に頒與

曠古の御大禮に地方賜饌の劇職に當りたる局員全部
光榮に浴せし田村平郵便局に此の光榮を頒つべくこの
長及築館、秋山の兩主事は 程全局員に賜饌の頒與を爲
聖恩に感激し日夜通信事務

知事の表彰した

勤続市町村吏員

多年自治事務の功勞者

縣内で四十四名

本縣では今回の御大典に際
し十一月十日付を以て多年
市町村吏員の職にあり自治
事務に功勞のあるもの四十
四名を嚴撰し加勢知事の名
を以て表彰したが内石城
郡内の分は左の如し
錦村助役 鷲 重三郎 授與し之を表彰す
勿來町助役 齊藤平左衛門 昭和三年十一月十日
永戸箕輪組合村助役 福島縣知事正五位勳四等
萩野 倉太 加勢清雄
草野村助役勳八等 (各通)

世間で見る程でない

農家生活の概況

世間では農家程裕福なるも反歩山林原野一町歩位であ
るのがないと思つて居る農家、最も右以上に所有して
はどの位有福のものである居る家は多くあるが自作し
か試みに調みて中流農家と得る反別は概ね是れ位であ
して家族数は先づ老父母二右以上所有者は他に小作
八、子女三人、世主夫婦二せしめて居る、老父母や子
人計七人位は普通である然女等は家業の助にならない
して自作として田一町畑參老父母は多少は手助になつ

各種提灯
特別大勉強
スガノヤ提灯店
電話 七一一二番

野上龜太郎
電話 一五二二番

遊覽團體開催

平町尼子亭の

吉田直之助氏が

ても田畑を耕す等の勞働は男子一人の收入にて妻と折紙を付れば鐵區坪數ニウムを以つて製造して
出稼得ない、而して世主等女は家に在て何等か内職及總採掘噸數等調査の上一ある所は僅かに二三ヶ所に
夫婦二人の稼である、田一入を得て居る是を計算すれば大アルミニウム製造工場 過す從つて同村特産の粘土
町歩の收穫は玄米にして二は如何に少收の者にして七を建設せんと意氣込でる含有のアルミニウムが果
十石此代價は一石三十圓と百圓以上はある、此くして此れが最後の解決は非常して永久性のものと判明せ
して六百圓、畑収入は蔬菜家は五百圓内外にて一家七に世間の注目を惹いてゐるが赤井村の幸福は勿論我國
麥豆等平均して一反歩三十口を糊し行ななければならぬが我國に於て地中より採掘工業界に一大貢獻である
圓と見積り三反歩九十圓一萬一にも病氣災難にでもしたる粘土中含有のアルミニウム期待されてゐる
山林 自家用薪炭を採取す 逢遇し若しくは收穫減收に
るのみにて金錢上の收入は ても逢たら止むなく借金を
なきものと見る、右計六百する、此くして年々經常費
九十圓是を夫婦一人當り三に不足を來し借入金に亦借金
百四十五圓となる一家七人をする人云ははむ前記の
の糊口を凌ぐのである然し計算はでたためなりと最も
て種子代租肥料農具等に 農家の收費は一月毎に相違
要する實支出は如何に節約ある決して一様でない現
しても田一町歩には百五十 下石城郡に於ける中流と目
圓、畑三反歩には二十圓位せらる、農家は右の計算に
を要する計金百九十圓山林相當して居ること確信して
は僅少故省略す、收入金六居る、而して年々歳々農家
百九十圓より差引殘額五百戸數の減少を來して居るの
圓也が一ヶ年の純益となるも亦所以ないわけてない人
是を官公吏職工等の收入は心の寄附利のある所に集る
何れも年額六百圓を下るも 農家の經濟夫れ如此
のはない、且つ彼等の收入

赤井特産の粘土に

多量のアルミニウム含有

化學試験の結果發見

會社創立の議も起る

本郡赤井村特産として同村、多量のアルミニウムが
一帯より採掘されてゐる含有されてゐる事を發見し
名なる粘土は主として品川を中心として各地の企業者は
白煉瓦會社の需要は勿論次早くも此れに着眼し地方否
で磐城、石城の二耐火煉瓦全工業界の行き詰まつ
工場及宮城縣釜石等に搬出た折柄非常に有望視され最
されてゐる外種々の雜用に近企業者間では寄り、協
各方面に用ゐられてゐるが議を凝らしてゐるが専門家
今回化學試験の結果同粘土が確實に永久性のものではあ
着桃山御陵に明治大帝昭憲

黄金萬能の花

花は櫻に人は武士。歌ふた
時はそりや昔。今の世の中
人はな。花は櫻に人は金
いくら武士でも貧乏だめ
だ。花の咲く木はかねの木

大發展大勉強の

磐城炭礦指定商

片寄裕弘氏

底知れぬ不景氣の聲は津々斯界に往々見分外の虚勢
浦々に充滿し一般營業者はを張り或は贅澤三昧に流れ
四苦八苦の状態だといふ弱様な薄志弱行の徒輩とは
つてゐる向も多いが就中盤 全然其の撰を異にし勤勉力
城平兩銀行が休業した餘波 行の人下常に良品薄利多賣
を受け且つ近年稀なる炭礦 主義の點に於ては決して他
界不振の影響に依り常磐地 追従を許さない向は最近
方は極度に衰微の現像を示 營業の繁榮に伴ひ店舗の狭
隨所に破産者の頻出する 隘と不便感じ豫て新築中の
等は少しも珍しくない然る 所此程落成し廣莊なる新店
此の不況時に直面し誠心 取揃へ店員一同は何れも親
誠意始終一貫商業道德を確 守し一意専心家業の爲めに
猛進しつゝあるは磐城炭礦 何時も買客で雜踏を極めて
高坂坑御殿山の磐城炭礦 定商片寄裕弘氏である氏は

赤心堂病院

平町田町(電話四七五番)

外科	婦人科	内科	光線科
外科一般	花柳科	産科	婦人科

赤心堂

平町田町(電話四七五番)

て於は會覽博工商國全
てしと期をるたし**領受牌銀**

季節向御集會用折詰
御祝儀用折詰
御節籠入折詰
御土産薩摩揚籠詰

大々の勉強致します

お歳暮及御正月の御用は是非弊店へ
平町二丁目

藤市 かまぼこ店

店主 遠藤 市松
電話 三〇五番

特賣

花 月

たひら正宗

福島縣清酒品評會
一等賞 受領
優等賞 受領

醬油醸造元

山崎合名會社

平町 電話 一〇番

標商錄登

天

花

石城郡勿來町酒井

大平 釀造場

電話 五七番

各國清酒品評會に
於て優等一等金牌
銀牌數十回受領

芳 酒 無 比

釀 福島縣平町久保町

永山酒造店

本 造 舖

配達敏速

永山酒造店小賣部
電話 二〇七番

最高の品質!!

最低の値段!!

の御用命は

仙臺屋靴店

主店 廣部勤太夫
平町 搦槌小路

平町古鍛冶町

青山易斷所
青山而象

常磐線綴驛前

産婆川島トミ

内郷村

内郷村小島

味噌製造販賣 遠藤明治

内郷村小島

白麴製造販賣 遠藤米吉

御料理 喜久の家

平町南町

御料理 花月

平町材木町 (聚樂館隣り)

電話 五〇六番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

和洋銅鐵 釜屋商店

諸橋久太郎

電話 九番 一三九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

廣告

有力銀行と合併準備の爲め十一月十九日より十二月十八日まで休業仕候

昭和三年十一月十九日

株式會社 平銀行

信州伊那の谷で昔から有名な 鹽澤家創製の 飲みよい 養命酒

平町五丁目

特約店 山野邊藥局